

〔平成27年度 伊勢市下水道事業会計決算の概要〕

本年度の下水道事業は、汚水処理事業として平成22年度から着手した流域関連公共下水道事業の第3期事業において、汚水幹線築造及び管渠の面整備工事等を行うとともに、平成32年度までの第4期事業の工事に着手しました。また、宇治・中村特定環境保全公共下水道事業では公共汚水ますの設置工事等を行いました。

雨水対策事業としては、ポンプ場の建設を行うとともに、ポンプ等の長寿命化を図るため機械・電気設備の更新工事を行いました。

維持管理業務においては、汚水処理場や雨水ポンプ場の適正管理を行うとともに、供用区域の水洗化に向けた地元説明会の開催や戸別訪問等による普及啓発に努めました。

1. 経営成績 (単位：千円)

区 分	金 額
収益的収入	3,371,083
収益的支出	3,239,973
当年度利益	131,110
前年度繰越利益剰余金	0
その他未処分利益剰余金変動額	0
当年度未処分利益剰余金	131,110

※ 議会の議決により、当年度未処分利益剰余金は資本的支出の財源として減債積立金に積立しました。

2. 財政状態 (単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
資 産	66,918,165	負 債	59,286,217
固定資産	63,670,892	固定負債	30,137,364
流動資産	3,247,273	流動負債	2,150,050
		繰延収益	26,998,803
		資 本	7,631,948
		資本金	6,734,915
		剰余金	897,033
		資本剰余金	765,923
		利益剰余金	131,110
合 計	66,918,165	合 計	66,918,165

3. 業務量の概要

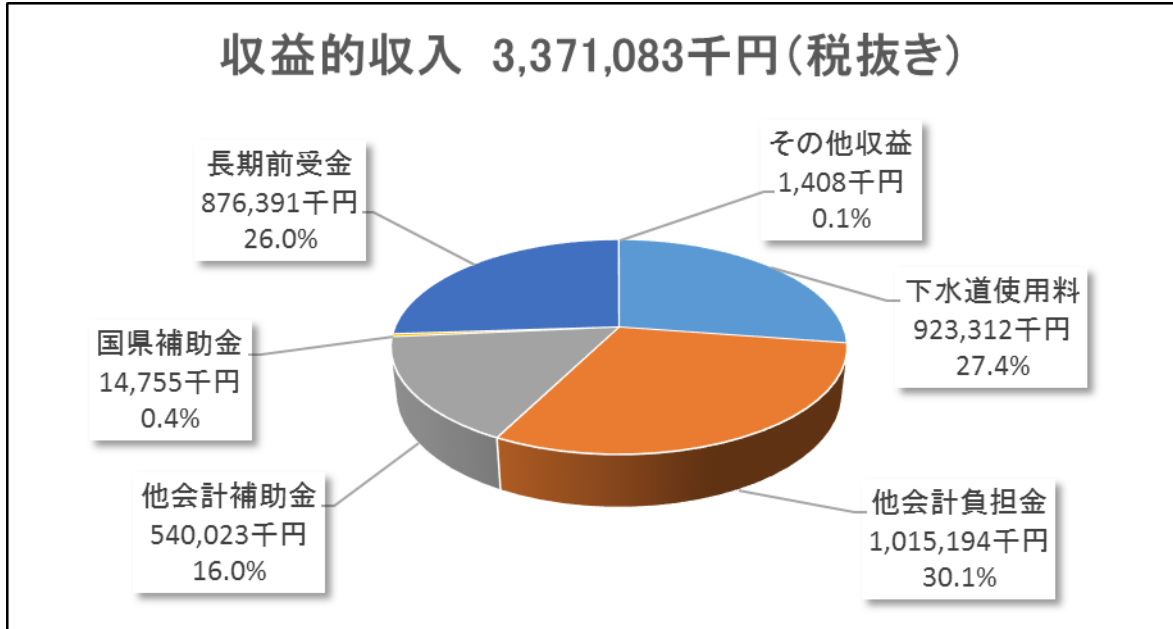
項 目	平成 27 年度	平成 26 年度	比 較	
			増・(△)減	比 率
行政区域内人口 A 人	129,353	130,338	△985	99.2%
処理区域面積 ha	1,649.8	1,580.9	68.9	104.4%
污水管渠布設延長 m	396,491	385,545	10,946	102.8%
処理区域内戸数 戸	26,765	25,455	1,310	105.1%
処理区域内人口 B 人	64,493	62,068	2,425	103.9%
水洗化戸数 戸	20,892	19,714	1,178	106.0%
水洗化人口 C 人	50,441	48,183	2,258	104.7%
普及率 B/A %	49.9	47.6	2.3	—
水洗化率 C/B %	78.2	77.6	0.6	—
処理水量 D m ³ /年	5,901,635	5,473,683	427,952	107.8%
有収水量 E m ³ /年	5,980,054	5,783,134	196,920	103.4%
有収率 E/D %	101.3	105.7	△4.4	—
雨水管渠布設延長 m	12,237	12,146	91	100.7%
ポンプ場稼動時間 H/年	1,709.4	1,081.3	628.1	158.1%

[下水道事業の収支]

1. 収益的収支

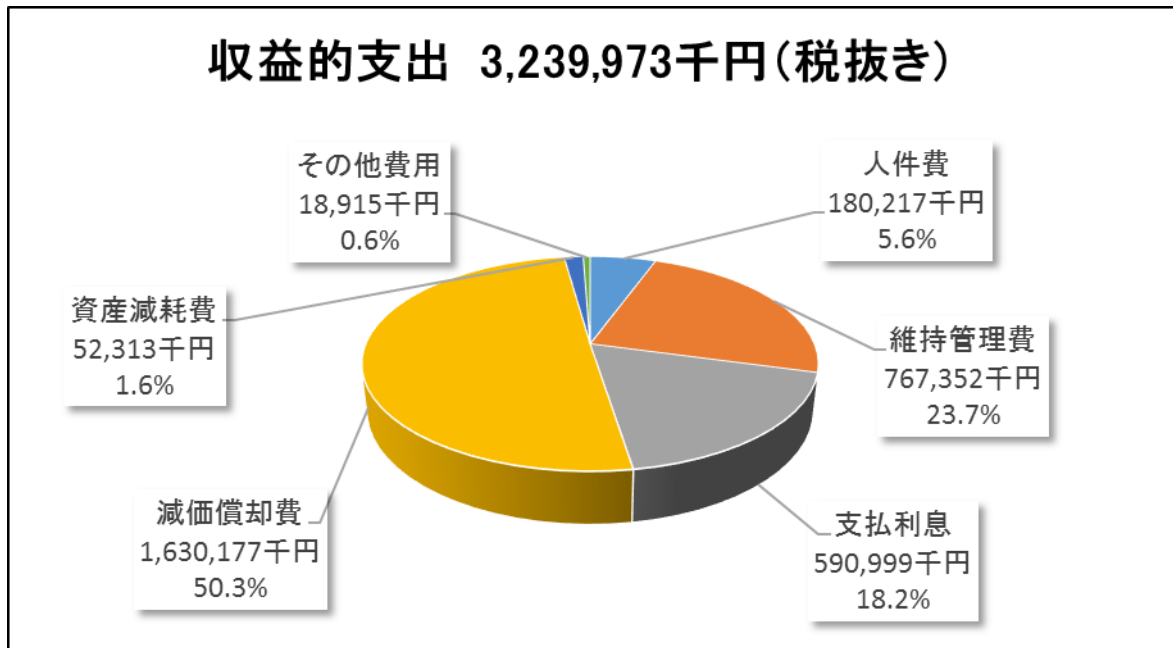
① 収益的収入

施設の維持管理費等下水道事業の経営に必要な経費（収益的支出）の財源。利用者に負担いただく下水道使用料や一般会計繰入金（他会計負担金、他会計補助金）、国県補助金、長期前受金等で構成しています。



② 収益的支出

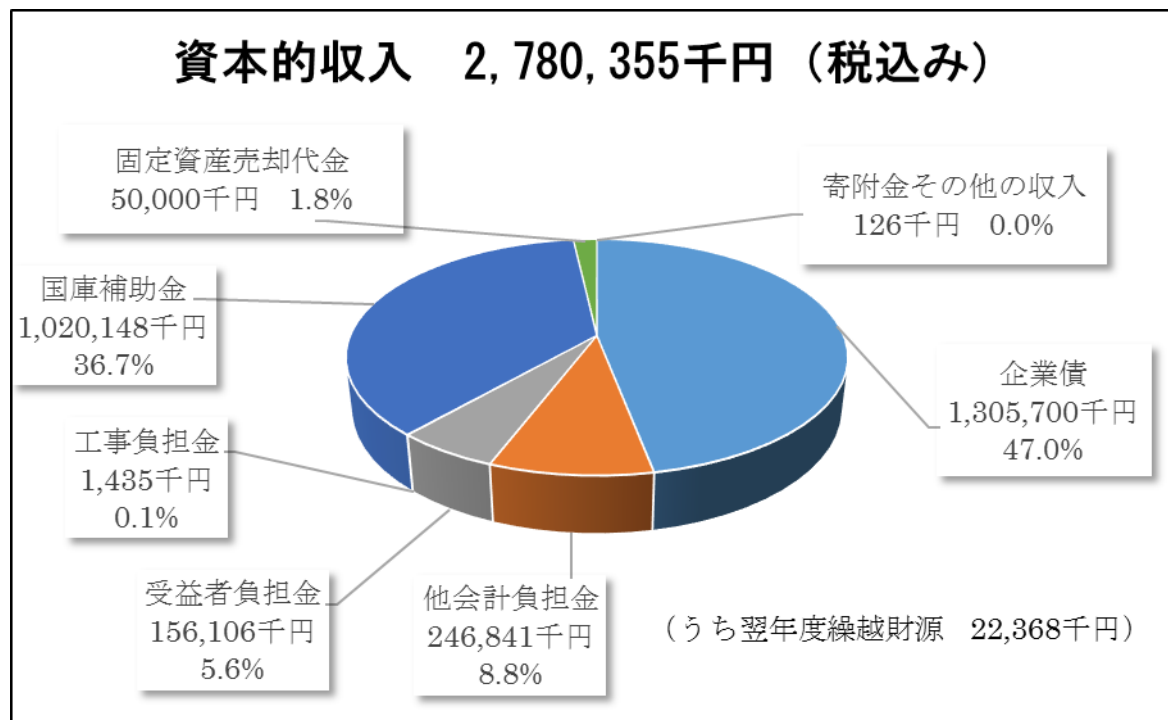
下水道使用料、一般会計繰入金等（収益的収入）を財源として、下水道事業を運営していくために必要な経費。施設の維持管理費、人件費、施設の建設等に要した借入金の支払利息、減価償却費等で構成しています。



2. 資本的収支

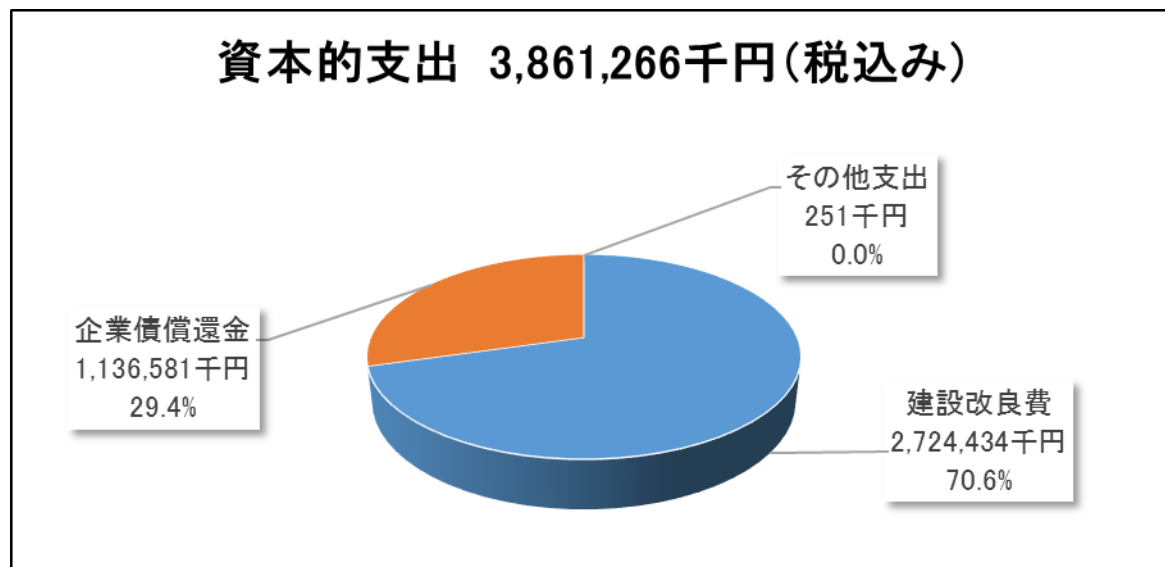
① 資本的収入

施設の建設改良及び建設改良にかかる企業債償還金（資本的支出）の財源。企業債、一般会計繰入金（他会計負担金）、受益者負担金、国庫補助金等で構成しています。



② 資本的支出

企業債や国庫補助金、受益者負担金等（資本的収入）を財源として、将来の経営活動に備えて行う施設・設備の建設改良や企業債の償還にかかる事業費。建設改良費、企業債償還金等で構成しています。



資本的収入額（翌年度繰越財源 22,368 千円を除く。）が資本的支出額に不足する額 1,103,279 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 89,645 千円、繰越工事資金 17,676 千円、過年度分損益勘定留保資金 995,958 千円で補填しました。